

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年11月11日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年11月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機使用済燃料プール循環冷却設備の空気圧縮機の起動不可について】 当社社員が、定期点検により運転停止していた2号機使用済燃料プール循環冷却設備の系統復旧に伴い、弁駆動用の空気圧縮機の電源を投入したが、現場の操作ディスプレイが表示されず空気圧縮機が起動できないことを確認。現場状況を確認したところ、空気圧縮機自体に通電されていることは確認できたことから、当該操作ディスプレイの基板の不具合と推定。 その後、当該操作ディスプレイの基板を交換し、空気圧縮機の起動を確認。 11月9日に当該冷却設備の運転を再開し、運転状態について異常がないことを確認。</p>	GⅢ	11月7日
2	<p>【工具センターのトルクレンチ定期校正における精度逸脱について】 協力企業作業員が、工具センター貸出工具のうちトルクレンチの定期校正を行った際、15台中3台の測定値が基準範囲の精度を逸脱していることを確認。 この3台に貸出実績が8件あるため、影響範囲を調査する。 今後、精度を逸脱したトルクレンチを調整し、再使用予定。</p>	GⅢ	11月8日